



# ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター  
[郵便番号] 〒110-0008  
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F  
[電話] 03-5815-4161  
[FAX] 03-5815-4162  
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>  
[電子メール] [damnews@jdec.or.jp](mailto:damnews@jdec.or.jp)

## この号の内容

- 1 “水質保全施設”  
本格運用はじまる
- 2 津軽ダム  
“コンジット主ゲート点検”  
を実施
- 3 鵜川ダム定礎
- 4 Dam news 投稿記事募集
- 5 図書販売



浅瀬石川ダム湖水循環装置の稼働を開始する  
佐藤克英 東北地方整備局長(右)と  
長内伸夫 岩木川ダム統合管理事務所長  
(令和2年6月1日撮影)



# “水質保全施設”本格運用はじまる

～ 浅瀬石川ダム“恒久対策施設”完成 ～

一級河川岩木川水系浅瀬石川上流部に位置する“浅瀬石川ダム”で、令和2年6月1日から湖水循環（曝気）装置の本格運用を開始しました。

浅瀬石川ダムでは、平成24年9月に発生した水道水の異臭味（かび臭）問題を受け、平成25年7月より暫定的な湖水循環装置を運用、異臭味の発生原因である藍藻類の抑制を行いました。その運用と同時に行われた湖水モニタリングで一定の効果がみられたため、平成30年度から恒久対策施設の工事に着手し、今年度から新湖水循環装置を3基稼働しました。

この設備は、建屋内にある空気圧縮機（コンプレッサー）で製造された空気を直径5センチの給気管を經由して、貯水池内に設置した3ヶ所の湖水循環装置（散気管）から排出することで貯水池を攪拌し、表層（水の温かい層）に集積しやすい植物プランクトンを光の届かない下層（水の冷たい層）に連行、拡散して増殖集積することを抑制するものです。湖水循環装置は24時間稼働していますが、植物プランクトンの増殖しにくい水温が下がる冬期や濁水の発生時には運転を停止します。

これからも地域のみなさまへ安心安全の“利水”をお届けできるよう、適切なダム管理に努めて参ります。また、現在休止中の現場見学会の再開時には希望者に対し見学をお受けいたします。見学会の再開等につきましてはホームページをご覧ください。

（国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）



▲空気圧縮機(コンプレッサー)が設置されている建屋



▲建屋内には空気圧縮機が4基並んでおり、1基は予備となっている



▲装置の稼働により湖面に波紋を見ることが出来る



▲暫定運用された際の散気管。直径約1.5mの円形の管に穴が空けられている

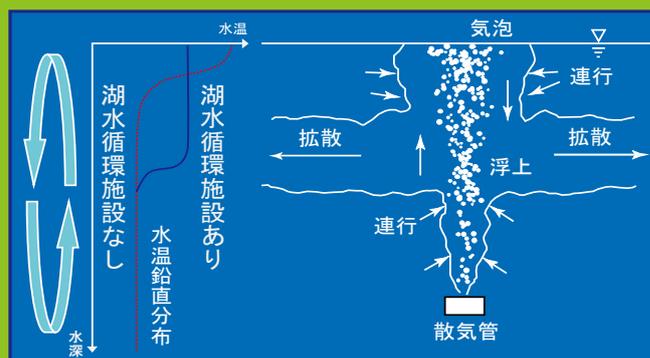


▲上流側にある2号・3号湖水循環装置を望む

## 湖水循環（曝気）装置の効果

◎湖水循環（曝気）装置はかび臭対策における他ダム実績も多く水温低下効果が確認されています。

◎湖水循環（曝気）装置で湖水が循環混合した場合、表層水温は23℃から18℃まで低下すると試算されています。

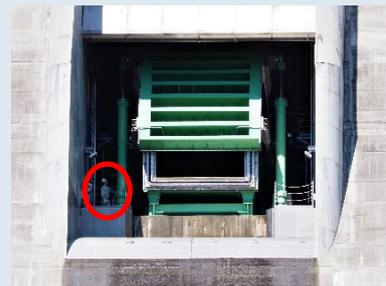




▲コンジット予備ゲートを全閉してダム湖からの水を遮断します。



▲放流管内の水を抜きます。予備ゲートが閉まってもこの勢い！



▲人間のサイズと比べると圧巻の大きさ。さすが国内最大級の引張りラジアルゲートです！



▲放水直後は流木などが残っています。清掃し、その後放流管内部に異常がないか確認します。



▲実際にゲートを動かし、数値に異常がないか確認、測定、記録します。



## 津軽ダム“コンジット主ゲート点検”を実施

一級河川岩木川水系岩木川上流部に位置する“津軽ダム”（青森県中津軽郡西目屋村）で、令和2年5月26日（火）から28日（木）までの3日間、“コンジット主ゲート点検”を実施しました。この点検は年に一度行われる重要な点検で、ゲートの正常な動作の確認だけでなく、通常は水が入っていて見ることのできない放流管内部の溶接部などに“ひび割れ”や“錆”等が見られないかを調べる点検です。

点検は、コンジット予備ゲートの全閉、コンジット主ゲート放流管内の水を抜水、清掃と続き、内部点検、開閉時のデータ測定・記録や油圧オイルの分析まで行われます。このような、多角的な視点での設備管理により非常時の操作に万全を期しております。

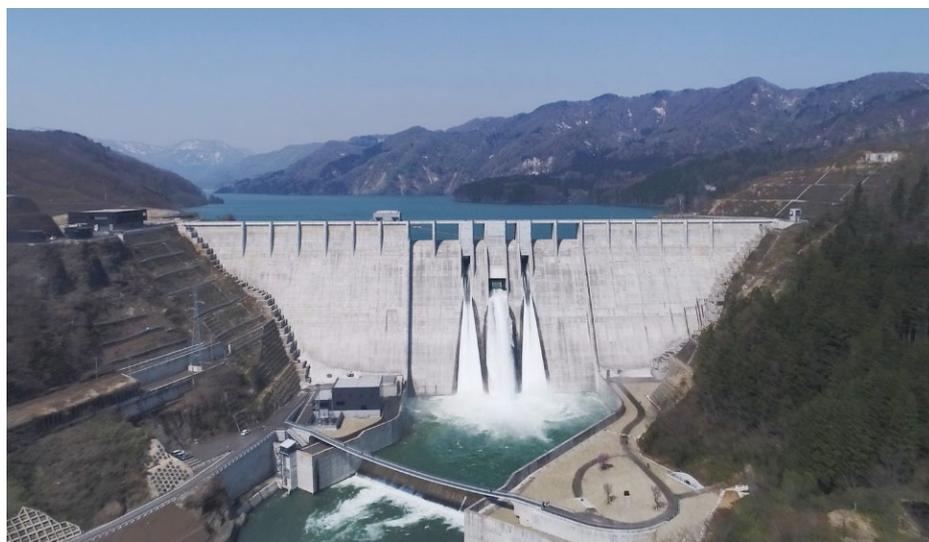
今後かんがい用水等の安定補給を始めとして、流水の正常な機能の維持や、洪水時に貯水池で濁水が発生した際には、下流河川への影響を軽減するためコンジットゲート放流を行うなど、適正なダム管理に努めてまいります。

（国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統管理事務所）

### ●津軽ダムの『コンジットゲート』とは？

大雨などで洪水が発生すると、ダム湖周辺から非常に細かい土粒子が流入するため、ダム湖が長期間濁る現象が起こります。その高濁度躍層から濁水を早期に排出することで、貯水池内の濁水長期化の軽減を図る環境放流設備です。

『コンジットゲート』には、国内最大級の『引張りラジアルゲート』を採用しています。



コンジットゲート放流を行った津軽ダム(2018.4.28撮影)

津軽ダムイメージキャラクター  
ベッカー君



津軽白神湖  
Tsugaru-Shirakami-Lake

# 鶺川ダム定礎

～ 新潟県 ～

新潟県柏崎市において建設を進めている鶺川ダムの定礎を令和2年5月12日に執り行いました。当初は県知事や柏崎市長をはじめ、地域の方々など多数が出席し、盛大に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により式典を中止とし、工事関係者のみによって行いました。

鶺川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持を目的として、二級河川鶺川に建設している治水ダムであり、堤高55.0m、堤頂長267.0m、総貯水容量470万m<sup>3</sup>、有効貯水容量318万m<sup>3</sup>の中央コア型ロックフィルダムです。

事業経過としては、昭和45年に予備調査を開始し、昭和50年の補助事業採択後、実施計画調査とダム設計を行い、昭和56年に建設事業に採択されました。平成16年に着工したダム本体建設工事は転流工を経て、平成30年から本体盛立に着手しており、工事の最盛期を迎えています。

今回の定礎では式典が中止となりましたが、ダムの永続的な安泰を祈願するとともに、今後の工事の無事故と無災害を祈願して、修祓の儀で清められた礎石をダム本体に埋納しました。本ダム建設工事は、令和7年度の完成に向けて、今後も安全に工事を進めて参りますので、本事業の関係者各位の御指導と御協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

(新潟県土木部河川整備課)



▲礎石



▲修祓の儀



▲定礎の儀



▲礎石とメモリアルストーン



祝 鶺川ダム定礎

## Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 企画部 ダムニュース担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

## 図 書 販 売

1. ダム技術  
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）  
令和2年4月号（No. 403）～令和3年3月号（No. 414） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）  
・平成17年6月発行 A4 判 88,200円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩  
・平成17年12月発行 A4 判 4,500円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理  
・平成18年5月発行 B5 判 2,000円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料  
・平成19年9月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム  
・平成20年6月発行 A4 判 7,000円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術  
・平成22年8月発行 A5 判 6,000円（税込・送料別）
8. ダム工事積算の解説 平成23年版  
・平成23年5月発行 A4 判 1,900円（税込・送料別）
9. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料  
・平成24年2月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料  
・平成24年6月発行 A4 判 3,000円（税込・送料別）
11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法  
・平成25年5月発行 A4 判 5,000円（税込・送料別）
12. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I  
・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
13. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—  
・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
14. ダム工事積算の解説（平成28年度版）  
・平成28年5月発行 A4判 2,500円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp

# 図書注文書

## 一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名(会社名) 私→宛名(申込者名)となります。		公・(宛名(会社名)) 私・(宛名(申込者名))	
申込者 (ご氏名)	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	(〒 - )		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3日～10日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1日程度誤差あり)
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAXもしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしく願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp